

然勤務の意志なきものと認定可致此段申
通知申上致以上

大正十一年九月二十四日

9.25
9.25
9.25

右通告ヲ受クルヤ今日午後六時ヨリ池袋字橋
内海野忠五郎(通告ヲ受ケタル一人)方ニ合部
職エヲ集合セシメ協議ヲ爲シ翌日ヨリ合部出
勤セサルコトニ決シタルモノ、此夕亦五日ハ
一名モ出勤セズ西栗崎町字宮件一八九。前記
高野仁平次方ニ集合レ更ニ協議ヲ重シ八名ニ
對スル通告ハ組立部全職工ニ對シルモノト見
做スコトニ限定シ鈴木新藏外五名代表者トシ
午前十一時頃工場ニ出頭三木事務長富田職工
長ニ會見シ前日代表者ニ送レル通告書ハ組立

部全職工ニ對スルモノト見做シテ差支ナキヤ
ト質問シ工場主側ハ八名ノシテハ問題ナリト答
フタルガ二三押問卷ヲ重シ結局工場主側ニテ
組立部職工全部カ右ノ如ク辭職スルトセバ夫
レニテモ差支ナシト答申セルヨリ一同集合所
ニ引揚ケタリ

次テ午後二時頃高野仁平次外七名三十三日夜
ノ代表者工場ニ出頭シ出勤スルノ意志ナキ六
名トアルモ吾々ハ曾テ如斯聲請ヲ爲レタルコ
トナシト主張シ協議ヲ申出テ其ノ不都合ヲ責
メタルニ對シ富田職工長及組立部長小林定幸
ハ工場主自宅ニ於ケル職工代表ノ言辭ヲ捕ハ
押問卷ヲ重シタルモノ水榭論ニ於テ職工側ハ一